広報 やすぎ 令和6年2月号

まちのタカラ

下山佐地区のイチオシ！

日常に寄り添う巨木の記憶
～三つ子杉の日用品～

▲廣国神社（左）と昭和20年頃の三つ子杉（右）。倒木時の話から、三つ子杉は高さ30m近くあったと考えられます。
◀三つ子杉を加工してつくられた茶器（棗）、コタツの天板、枝の木目を生かしたインテリア。

下山佐地区は、山佐川の南側から、北側は松江市との市境までを含む、範囲が広い地域です。谷沿いに集落が点在する地域であり、寺社も人口に比べ多くあります。そのうちの一つ「廣国神社」は、奥谷川から松江市八雲町方面へと向かう山道沿いにあります。

今はポツンと建つこの神社ですが、昭和半ばまではシンボルとなる木がありました。幹周りおよそ7mにもなる巨木「三つ子杉」。1人の氏子が3歳になる子の成長を願って植えたことが由縁とされています。千年杉とも呼ばれていたこの大木は樹齢300年ほど、神社が建てられた宝永7（1710）年頃からあったと考えられています。

大切にされてきた三つ子杉ですが、昭和30年の夏に暴風で倒木。近隣に住む須藤操さんは「自分はまだ小学生でしたが、そのときのことは強く記憶に残っています。倒れた木は随神門や鳥居を巻き込み、道路にも届くほどでした」と当時をしのびました。

倒れた杉の大部分は木材として売られ、枝や端材は氏子や周辺住民にも配られました。受け取った人はそれぞれが普段使う茶器や箸等に加工し、日常の中で使用しています。三つ子杉がなくなり久しくなりますが、形を変えて今でも愛されているのです。

編集後記

▼荒島地区活性化推進協議会の設立30周年を記念した植樹祭を取材した時のこと。地元荒島小学校の児童6年生全員と1年生2人が一緒に桜の苗木を植えていました。この子たちが大人になって自分たちが植えた桜の木の前でうれしそうに満開の花を眺める姿を勝手に想像し、勝手に目頭を熱くしてしまいました（け）

▼12月4日から10日は人権週間です。毎年その時期に行われている人権フェスティバルに行ったことがありますか。講演はもちろん、展示・体験コーナーも充実していて、楽しみながらも人権について考えるきっかけとなります。「偏見なんて持っていない」という人も、きっと新たな発見があります。ぜひお越しを（岩）

安来市の人口と世帯数　R5.12.31現在

人口合計／　35,855人
（男:17,270人　女:18,585人）
世帯数／14,264世帯

●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課（☎23-3067）までご連絡ください。

VEGETABLE OIL INK

秘書広報課編集／安来市役所
〒692-8686島根県安来市安来町878-2　電話:23-3010 / FAX:23-3161
ホームページhttps://www.city.yasugi.shimane.jp
メール:hisho@city.yasugi.shimane.jp